

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

船橋市

2 構造改革特別区域の名称

船橋市英語教育特区

3 構造改革特別区域の範囲

船橋市の全域

4 構造改革特別区域の特性

(1) 国際都市としての「船橋市」

本市は、東京湾北東部沿岸、県北西部に位置し、人口57万を超え、県下では千葉市に次ぐ第2の人口を擁する中核市である。

首都東京と成田国際空港との中間地点という地の利などから、住宅と人口は増加の一途をたどっている。それに伴って、国内外の企業、とりわけ外資企業の進出は目覚ましく、本市の国際化に拍車をかけている。

このような状況から本市は、国際交流分野においても、中国の西安市、アメリカ合衆国カリフォルニア州ハイワード市、デンマーク王国オーデンセ市とは、姉妹・友好都市を締結して、市民同士の交流を中心に、文化・スポーツなどを通じた国際交流活動を活発に行っている。

また、本市の国際化は、現在帰国児童生徒約500名、外国人児童生徒約300名が市内の小・中学校に在籍しているなど、学校教育にも大きな影響を与えている。

(2) 本市の国際理解教育及び英語教育

本市では、昭和50年代前半より、帰国児童生徒の在籍数が増加するとともに、外国人児童生徒の数も激増したことから、「船橋市帰国子女教育推進研究協議会」を組織し、適応指導及び日本語指導に関する研究を始めた。その後、昭和58年に文部省より帰国子女受入推進地域の指定を受けて以来、学校教育活動全般に異文化理解の観点を取り入れるなど船橋市独自の国際理解教育を

進めてきた。

さらに中学校並びに市立船橋高等学校に英語教育の充実を図るべく、昭和59年度に文部省イングリッシュフェロー(MEF)制度のもとに2名の英語指導助手(AET)を招致し、次いで、昭和60年度、61年度には7名のAETを招致するに至った。

この制度が、JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)となり、昭和63年度に15名を採用し、平成元年度には、本市独自採用として3名のALTを雇用した。その後、年々その数を増し、現在、43名のALTを擁している。

また、27校すべての中学校において、ALTとのチーム・ティーチングが定着しており、語学力の向上はもとより、英語によるコミュニケーション能力の育成に大きな成果をあげている。なお、小学校においても、平成11年度から、ALT2名を小学校英語教育推進校へ派遣し、現在では、全小学校55校に計14名を派遣している。その結果、児童は英語に親しむと同時に異文化に触れる活動が浸透し、国際理解に多大な成果をあげている。

5 構造改革特別区域計画の意義

急速に進展する国際都市化の中で、今後児童生徒に求められるのは、日本人としての自己の確立とともに、広い視野を持ち、異文化を理解し尊重する態度や協調性を養うことである。

本市においても、市民主体のさまざまな国際交流活動を促進するとともに、外国人とともに暮らすまちづくりを目指し、船橋市国際交流協会や船橋市国際親善ボランティアと協力して地域に根差した国際交流や、外国人への支援等の推進を通して、世界で生き抜く人材の育成を図ってきている。このことをより効果的に推進するためには、未来に生きる児童・生徒が国際社会に貢献するための、広い国際感覚と高いコミュニケーション能力を育成することが重要である。

また、積極的な英語教育の推進により、国際交流事業の活性化、市民の国際感覚を涵養し、「世界に開かれた船橋市」を目指すものである。

6 構造改革特別区域計画の目標

本市は国際理解教育、英語教育の推進により、異文化を理解するとともに、自国を愛し、世界を舞台に生き抜く人材の育成に努めている。

そのためには、国際社会において日本人に求められている「自己表現力の育成」に力を傾注していくことが肝要であり、現在世界の多くの国々で話されている英語による理解力と表現力の育成とともに、コミュニケーション能力を高めていくことが急務である。

そこで、柔軟性や順応性の高い小学生早期の段階から英語教育の推進に積極的に取り組むことが有効であると考えます。

小学校においては、全学年の教育課程に「英語科」を設置し、児童が自分の考えや身近なことを英語で伝えようとするコミュニケーション能力の基礎を養うと共に、外国の文化等にふれる機会を通じて、国際感覚を備えた人間の育成を図ることを目標とする。

中学校においては、従前の英語科の授業に1時間を加え、週4時間とする。新たに設定された1時間においては、場面での表現練習を中心とした英語でのコミュニケーション活動と「聞く」力を向上させるカリキュラムにより、生徒の英語による実践的コミュニケーション能力を育成することを目標とする。

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

(1) 将来、国際的な場面でリーダーシップがとれる人材の育成

小学校、中学校において、児童生徒に英語を効果的に学習させ、コミュニケーション能力を養い、外国人の指導者と関わらせることで、広い視野を持った国際性豊かな人間を育成するとともに、日本人としての誇りと外国の人々や異文化を尊重する真のリーダーを育成する。将来、国際人として、世界の国々や人々と上手に共生し、経済的にも、社会的にも未来社会に貢献で

きる人材に育つことを願うものである。

(2) 市民の中の「英語の達人」の活用

本市には、総会員数300人を数える英語クラブ等の英語関係団体が多数存在している。その中には、英語が堪能で、しかも教育に情熱をもつ人材も多く、学校での英語教育に活用できると考える。そこで、平成19年度以降、積極的にその人材を登用することとする。多くの人々が英語教育に関わることで、異文化理解、国際協調及び人権尊重の精神を市民に広めることができる。

(3) 思いやりに満ちた市民がつくる国際都市「船橋」

今後一層の国際化が期待される中で、児童生徒のレベルにとどまらず、市民が学校での英語教育に参画することにより、本市の多くの市民が普段の生活の中で外国人と交流をすることになる。こうした外国人との様々な交流をとおして、日常生活の中で外国人を心から受け入れられる思いやりに満ちた市民を育成する。

(4) 地域の国際教育拠点の形成

約500名にも及ぶ帰国児童生徒に対する指導について、その受入れを円滑に進め、海外での経験を通して育まれた特性をさらに伸ばすこと、そしてこれらの子どもたちの経験を、英語教育の中で活用することで、子どもたち同士が成長を促し合う。このような船橋市の地域の特性を生かす中で、地域全体の国際教育の振興を図り、個の特性に応じて、国際社会のリーダーとして求められる態度・能力を初等中等教育段階から育成できる。

8 特定事業の名称

構造改革特別区域研究開発学校設置事業（特例措置番号 802）

9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し、地方公共団体が必要と認める事項

関連事業

船橋市英語教育推進委員会の開催

船橋市では、平成18年度より小中学校における英語教育改善を進めるために、学識経験者や学校関係者・保護者・市民等で構成する「船橋市英語教育推進委員会」を平成17年度に発足させ、小学校での英語科カリキュラムの作成、中学校での学習システム・指導方法に関することなど、本市の英語教育について検討を行っている。

小学校英語指導コーディネータの派遣

小学校での英語科の指導と学級担任とALTとの連携を促進するために、英語指導の経験を持つ日本人コーディネータを採用し、各小学校での英語指導の充実を目指す。

教員の英語指導力向上のための研修事業

現在船橋市総合教育センターの主管で、小学校教員に対する英会話体験及び英語指導研修講座を実施している。今後は、小学校教員の英語指導力の一層の向上、日本人コーディネータの研修等、さらなる研修体制の充実を図っていく。

教育委員会と関係部局が連携した国際交流

本市の国際交流室の主管で、下記の都市との間に姉妹都市・友好都市関係を締結している。

姉妹都市・友好都市との交流

- ・アメリカ合衆国カリフォルニア州ハイワード市
- ・デンマーク王国オーデンセ市
- ・中国西安市

外国人児童生徒への適応指導

市内の小、中学校に編入している外国人児童生徒に対し、市内数か所の拠点校において、日本語教室を開設するなど、日本語指導を始めとする適応指導を実施している。

別紙 1

1 特定事業の名称

構造改革特別区域研究開発学校設置事業（特例措置番号 802）

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

特区内の市立の全小・中学校

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

構造改革特別区域計画の認定の日から

4 特定事業の内容

(1) 事業に関与する主体 船橋市

(2) 事業が行われる区域 船橋市内2中学校区6校（平成18年度）
船橋市立全小・中学校（平成19年度）

(3) 事業の実施期間

平成18年度から実施し、平成20年度末までに事業についての評価と見直しを行う。

(4) 事業内容

小学校

- ・ 全学年の教育課程に「英語科」を新設する。
- ・ より効果的な英語教育を実践するために船橋市独自の年間指導計画を作成する。
- ・ 市の年間指導計画に基づき、低学年から計画的・系統的な学習を進める。
- ・ 第1学年から第5学年は週1回20分授業を、第6学年においては、週3回（15分・15分・30分）の授業を行う。
- ・ 指導は日本人コーディネータとの連携のもと、学級担任とALTとの

ティーム・ティーチングを行う。

・指導内容は、英語に親しみながら日常の簡単なコミュニケーションができるような語句や表現を学ばせる。特に、第6学年においては「聞く」「話す」中心のコミュニケーション活動に加え、リスニング能力育成のための学習システムを利用する。

・教育課程編成上の措置は、第1・2学年については生活科から、第3学年から第6学年までについては総合的な学習の時間から英語科授業に充てる。

・学習の評価については、各自に学習カードを持たせ、場面に応じた表現パターンの習熟状況を記録していくポートフォリオ形式など、学年ごとの到達目標の達成を評価できる船橋市独自の評価方法を工夫する。

中学校

・英語科の授業時間数を全学年週3時間から4時間に増やし、年間105時間から140時間にする。

・実践的コミュニケーション能力の育成を図るため、船橋市独自のカリキュラムを作成する。

・「話す」「聞く」のコミュニケーションの機会として「アクティビティ・タイム」と称する授業を週1時間設定し、前半には場面に応じた表現練習中心のコミュニケーション活動を、後半には小学校からのリスニング能力育成を継続する指導を行う。

・教育課程編成上の措置は、総合的な学習の時間や選択教科の時間から年間35時間を増時数分に充てる。

事業推進の環境づくり

・小学校では、平成11年度から英語活動推進校を設置し、ALTと学級担任とのティーム・ティーチングによる指導を始めた。

・平成17年度までに全ての小学校で英語活動の時間が設定され、英語教育が進められている。

・平成18年度には2中学校区を指定し、校区内の小・中学校あわせて6校において、前記事業内容を実施する。

・平成18年度の実施結果をもとに十分に協議・検討を重ねたうえで、平成19年度からは全市立小・中学校において実施する。

・平成19年度からの全面実施にあたっては、小学校専任ALTや

外部指導者の質・量ともに充実させる。

5 当該規制の特例措置の内容

(1) 特例措置の必要性

急速に進展する国際都市化の中で、今後児童生徒に求められるのは、日本人としての自己の確立とともに、広い視野をもち異文化を理解し尊重する態度や協調性を養うことである。そのためには、未来に生きる児童生徒が国際社会に貢献するための、豊かな国際感覚と高いコミュニケーション能力を育成することが重要である。また、積極的な英語教育の推進により、国際交流事業が活性化し、市民の国際感覚が涵養されることも期待できる。

本市は、市民主体のさまざまな国際交流活動を推進するとともに、外国人とともに暮らすまちづくりを目指し、船橋市国際交流協会や船橋市国際親善ボランティアと協力して、地域に根差した国際交流、外国人への支援等を推進している。また、教育分野では国際理解教育や英語教育の推進により、異文化を理解するとともに自国を愛し、世界を舞台に生き抜く人材の育成に努めている。

今後、国際社会で日本人に求められている「自己表現力の育成」に力を傾注していくことが肝要であり、現在世界の多くの国々で話されている英語による理解力と表現力の育成とともに、コミュニケーション能力を高めていくことが急務である。

また、柔軟性や順応性の高い小学生早期の段階から英語教育に積極的に取り組むことが有効であると考える。

(2) 措置申請の理由

小学校第1・2学年における英語活動は、生活科の「地域とのかかわり」「人とかかわり」のなかに位置付けられるものの、年間をとおして系統的に英語の学習を進めるには不十分な状態である。

小学校第3学年以上における英語活動は、現行の学校教育法施行規則及び小学校学習指導要領において、「総合的な学習の時間」の「国際理解」の中に位置付けられている。しかし、その扱いについては各学校に任されており、効果的な指導のもととなる全校共通の年間指導計画や指導方法、教材等が整

備されていない。

そこで、全学年に英語科を新設し、第1学年から第5学年までの授業においては、発達段階に応じた指導計画と指導方法により、学級担任とALTとのチーム・ティーチングを進め、児童のコミュニケーションへの意欲、関心、態度を養い、身近な場面において英語で表現する力の基礎基本を定着させる。第6学年では、週3回の英語の授業で特に「聞く」力を向上させ、表現する力を豊かにする。さらに、中学校においては英語の時間を1時間増やし、「話す」「聞く」に焦点を絞った学習をすることで、日常生活の中で英語による多様なコミュニケーションができるようにさせる。

上記9年間の英語教育をとおして、船橋市が推進する「英語で話せる子どもの育成」を実現できるものとする。この実現に向けて、小学校への「英語科」の新設と、中学校における英語科授業の1時間増は不可欠な措置である。

以上の理由から特例措置の申請を行うものである。

(3) 要件適合性を認めた根拠

学校教育法第18条第2項に、「郷土及び国家の現状と伝統について、正しい理解に導き、進んで国際協調の精神を養うこと」とある。これは、小学校における教育の目標のひとつとして掲げられているもので、これからの国際社会において、世界情勢や歴史的背景などを理解し、相手の立場を尊重しつつ、そのための外国語能力や表現力などのコミュニケーション能力の必要性を示すものである。

本事業は、本市の国際化の進展に伴い、児童生徒に求められる「生きる力」につながる学力を身に付けさせるためのものであり、現行の学習指導要領の基準より高い位置にねらいを設定するものである。

小学校

英語活動は「生活科」において、「地域とのかかわり」「人とのかかわり」に位置づけることができるが、低学年の英語科は、「人との交流を成立させるコミュニケーション能力の基礎」を育成するものであることから「生活科」のねらいの達成に資するものとする。

中学年、高学年における英語科の学習では、英語によるコミュニケーショ

ン能力を育成しながら「国際社会に生きる力を育む」ことをねらいとしており、「総合的な学習の時間」の目標を十分達成できるものとする。

中学校

「アクティビティ・タイム」を設置し、「聞く」「話す」を主とした活動で実践的コミュニケーション能力の育成を目指すこととし、同時に外国の言語、文化、生活を理解するなど、「総合的な学習の時間」における国際理解の目標を達成できると考える。また、生徒ひとりひとりが様々なコミュニケーションを創造する機会を与えられることで、生徒の個性の伸長をめざす「選択教科」の目標をも達成できるものとする。どちらの時間を活用するかは、各中学校の実態に応じた創意工夫に任されており、中学校学習指導要領における教育課程編成の方針にかなうものである。

(4) 取り組みの期間等

本事業は、特区認定日以降、平成18年度から、一部の小・中学校で実施し、平成19年度に全校実施となる。平成20年度間に評価と見直しを行う。

(5) 実施に係る教員配置上の措置

小学校においては、市内55校に各学年週1回の英語授業を実施するために必要とするALTならびに、授業の運営・改善にあたる日本人コーディネータを配置する。

中学校においては、週3回の英語授業に加えて、「アクティビティ・タイム」の担当として、日本人コーディネータを配置するとともに、中学校に配置する外国人講師を特別非常勤講師に任命し、単独で授業を行わせることとする。

(6) その他の措置

- ・市外からの転入、編入した児童・生徒に対しては、小学校では日本人コーディネータとの連携のもと担当教諭が放課後等に支援する。中学校においては英語科担当教諭および配置されたALTが個別に支援する。
- ・教材については、小学校では6学年の聴解力錬成の時間で船橋市英語教育推進委員会が作成するワークブックを使用する。そして、中学校の「アクティビティ・タイム」でも同様のワークブックを使用する。

(7) 教育課程の基準によらない部分

【小学校】

小学校全学年に「英語科」を設置すること。

第1学年から第5学年までの各学年に「英語科」を設置し、第1学年においては、生活科から年間17単位時間をあて、2学年においては、生活科から年間17.5単位時間(45分)をあてる。

第3,4,5学年においては、「総合的な学習の時間」から年間17.5単位時間(45分)をあてる。1回の授業時間は20分とする。(時数は22.5分で計算する)

6年生は、15分、15分、30分の週3回の授業を実施し、「総合的な学習の時間」から年間47単位時間をあてる。

平成18年度小学校の推進校での標準授業時数

区分	各教科の授業時数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	総合的な学習の授業時数	英語	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育					
第1学年	27.2		11.4		8.5 (-17)	6.8	6.8		9.0	3.4	3.4		17	78.2
第2学年	28.0		15.5		87.5 (-17.5)	7.0	7.0		9.0	3.5	3.5		17.5	84.0
第3学年	23.5	7.0	15.0	7.0		6.0	6.0		9.0	3.5	3.5	87.5 (-17.5)	17.5	91.0
第4学年	23.5	8.5	15.0	9.0		6.0	6.0		9.0	3.5	3.5	87.5 (-17.5)	17.5	94.5
第5学年	18.0	9.0	15.0	9.5		5.0	5.0	6.0	9.0	3.5	3.5	92.5 (-17.5)	17.5	94.5
第6学年	17.5	10.0	15.0	9.5		5.0	5.0	5.5	9.0	3.5	3.5	6.3 (-4.7)	4.7	94.5

【中学校】

英語科の時間数を年間140時間とする。

選択教科に充てる時間と総合的な学習の時間から、35時間をあてる。

平成18年度中学校の推進校での標準授業時数

学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	道徳	特別活動	選択教科等	総合的な学習の時間	選択プラス総合	総授業時数
1年	140	105	105	105	45	45	90	70	140	35	35	0~30	70~100	65 (-35)	980
2年	105	105	105	105	35	35	90	70	140	35	35	50~85	70~105	120 (-35)	980
3年	105	85	105	80	35	35	90	35	140	35	35	105~165	70~130	200 (-35)	980

* 英語科に加える35時間については、「総合的な学習の時間」または「選択教科」から総時数35時間を学校の裁量によりあてる。

船橋市小学校「英語科」指導計画

目標：・身近な日常的会話や基本語句を理解し、使うことができる。

・自分や他人を紹介したり、どこに住んでいるか、誰を知っているか、何をもっているか、どこへどうやって行くかといったことを尋ねたり、答えたりできる。相手がゆっくり話し、ときどき助けてくれるなら簡単なやりとりができる。

・英語の音声に慣れ親しみ、英語らしい発音ができる。

	目 標	内 容
1年	(1) 英語に初めてふれ、英語の音に親しむ (2) 英語による活動を楽しみ、友達と英語でふれあう (3) 外国の行事や習慣などを楽しむ	(1) 英語を聞いたりして、英語のリズムや音声に親しむ。 (2) あいさつやものの名前を聞く、言う (3) 外国の習慣、歌、遊びを体験する
2年	(1) 英語のリズムや音声にふれ、親しむ (2) 英語を使って交わり、英語を使う喜びを体験する (3) 外国の行事や習慣などを楽しむ	(1) 英語のリズム、抑揚、音に親しむ (2) 英語での挨拶、受け答えを楽しむ (3) 外国や日本の行事や習慣、歌、遊びを体験する
3年	(1) 英語の音声的特徴に慣れる (2) 英語を使って先生やクラスの人たちと話す。 (3) 外国と日本の言葉、習慣の違いに気づく	(1) 英語の音やアクセント、リズム、抑揚などに注意して聞き、話す (2) 学習した英語を使って話したり質問に答えたりする (3) 外国の文化について知る
4年	(1) 英語を聞いたり、話したりすることに慣れる。 (2) 外国と日本の言葉や生活、習慣、文化の違いを知る	(1) 日常生活上の簡単な会話を聞いたり、簡単な表現を使って応答したりする。 (2) 外国の文化に注目する
5年	(1) 積極的に英語を聞いたり、話したりする。 (2) 身近なことを相手と伝え合う (3) 外国と日本の言葉や生活、習慣、文化を比較する	(1) 身近な会話を聞いて理解する。 (2) 身近なことや自分のことをお互いに聞いたり、話したりする。 (3) 学習した表現を使って、会話を組み立てる。
6年	(1) 自然に話されている簡単な英語を聞き、わかる。 (2) 自分のことや身近なことを簡単な英語を使って話す (3) グループやペアで英語のスキットや劇等を自主的に練習し、上演する	(1) 外国人同士の自然な早さで話されている英語を聞かせ、理解する (2) 学習した表現を駆使して、その場の会話を創造する (3) スキットや劇などで、できるだけ多くのコミュニケーションを体験する

内容	あいさつ	数・色	体	動物・フルーツ	クリスマス	乗り物	形
単語	<p>Good-morning Good-afternoon Good-bye Good-evening Good-night See you</p> <p>stand up sit down walk stop run turn around jump clap</p>	<p>1 ~ 1 2 one ~ twelve</p> <p>red yellow blue white green orange black pink gray purple</p> <p>rock scissors paper one two three</p>	<p>head shoulder knee toe mouth nose eye ear hand finger hair foot</p>	<p>tiger lion bear elephant hippo giraffe horse pig monkey rabbit dog cat</p> <p>orange apple banana lemon pineapple strawberry grape melon</p>	<p>Santa Claus reindeer candle candycane sleigh snowman Christmas tree Christmas socks star</p>	<p>car bus truck ship bicycle plane taxi train</p>	<p>shapes circle square triangle</p>
フレーズ	<p>Hello! How are you?</p> <p>I'm fine.hungry, sleepy, happy, good.</p> <p>Thank you? And you? I'm fine ,too.</p> <p>Please,sitdown.standup. Make a circle. Make group. Hands up. Make a line.</p>	<p>What's number? Let's count ~. Clap your hands.</p> <p>What color is this? It's red.</p> <p>Let's play ~</p>	<p>Touch your head!</p>	<p>Let's go to the zoo.</p> <p>What is that? It's a white bear.</p> <p>What is this? It's an apple.</p> <p>Howmany bananas? Three bananas.</p>	<p>Let's play Christmas activity! Let's make Christmas card! Let's sing Christmas song!</p>	<p>What's this? It's a bus. Paint the truck blue.</p>	<p>What is this? It's a red circle.</p>

<p>内容</p>	<p>あいさつ</p>	<p>日常生活</p>	<p>家族</p>	<p>食べ物</p>	<p>クリスマス</p>	<p>形</p>	<p>買い物</p>
<p>単語</p>	<p>Japan America France Brazil Korea Russia</p> <p>Season spring summer fall winter</p>	<p>1 ~ 12 one ~ twelve</p> <p>red yellow blue white green orange black pink gray purple</p> <p>rock scissors paper one two three</p>	<p>head shoulder knee toe mouth nose eye ear hand finger hair foot</p>	<p>tiger lion bear elephant hippo giraffe horse pig monkey rabbit dog cat</p> <p>orange apple banana lemon pineapple strawberry grape melon</p>	<p>Santa Claus reindeer candle candycane sleigh snowman Christmas tree Christmas socks star</p>	<p>car bus truck ship bicycle plane taxi train</p>	<p>shapes circle square triangle</p>
<p>フレーズ</p>	<p>Hello! What is your name? My name is . nice to meet you. Where are you from? I'm from America.</p> <p>How old are you? I'm ten years old.</p> <p>What season do you like? I like summer.</p>	<p>What's number? Let's count ~ . Clap your hands.</p> <p>What color is this? It's red.</p> <p>Let's play ~</p>	<p>Touch your head!</p>	<p>Let's go to the zoo.</p> <p>What is that? It's a white bear.</p> <p>What is this? It's an apple.</p> <p>How many bananas? Three bananas.</p>	<p>Let's play Christmas activity! Let's make Christmas card! Let's sing Christmas song!</p>	<p>What's this? It's a bus. Paint the truck blue.</p>	<p>What is this? It's a red circle.</p>

内容	あいさつ	日常生活	家族	食べ物	クリスマス	形	買い物							
単語	<p>I'm hot. I'm cold. I'm happy. I'm great. I'm sleepy. I'm tired.</p>	<p>get up wash my face brush my teeth comb my hair eat breakfast watch TV take a bath put on my cloth go to school</p>	<p>mother father sister brother grandfather grandmother</p>	<p>curry rice salad hot dog hamburger steak spaghetti noodles sandwich cake pizza fish chicken french fries</p>	<p>Santa Claus reindeer candle candycane sleigh snowman Christmas tree Christmas socks star</p>	<p>shapes circle square triangle rectangle</p>	<p>shopping chocolate cookie sweet coffee</p>							
フレーズ	<p>Hello! What is your name? My name is . Nice to meet you. Nice to meet you,too.</p>	<p>What do you do? I brush my teeth.</p>	<p>This is my father.</p>	<p>Do you like pizza? Yes, I do. No,I don't.</p>	<p>Let's play Christmas activity! Let's make Christmas card! Let's sing Christmas song!</p>	<p>Welcome to ~ Cookie, please. How much is that? Ten dollars Here you are. Thank you.</p>	<p>How is the weather? It's sunny.</p>	<p>It's Monday.</p>	<p>Do you have a cap? Yes, I do. No, I don't.</p>	<p>Can you fly a kite? Yes, I can. No, I can't.</p>	<p>How do you say "sankaku" in English? It's a triangle.</p>	<p>What time is it? It's three o'clock.</p>	<p>Let's play ~</p>	<p>Do you have a pen? Yes,I do. No, I don't.</p>
天気・時間	<p>sunny stormy windy cloudy smoggy rainy</p>	<p>Sunday Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday</p>	<p>left right go back stop hit turn round turn left turn right go straight</p>	<p>clothing cap jacket shirt pants skirt shoes sandal sweater</p>	<p>kite top battledore snowman skate ski sled snowboard</p>	<p>notebook eraser book pencil glue bag scissors ruler paper</p>								
曜日														
方向														
身につける物														
冬のあそび														
持ち物														

船橋市中学校英語科「アクティビティ・タイム」指導のねらい

目標：日常生活の身近な事柄やその中でよく使われている表現を聞いて理解でき、自分でも話すことができる。

	「話す」	「聞く」
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の身近なことがらについて正しく話すことができる。 ・身近な相手の簡単なことがらについてたずねたり、答えたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の身近なことがらについての英語を聞いて、おおまかな内容を理解する。 ・英語での簡単な対話を聞いて、おおまかな内容をとらえる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の場面で、その場に応じた内容を英語で話すことができる。 <p>「買い物」「頼み事」「道案内」等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の場面で話されている、の簡単な英語を聞いて話し手の意図を理解できる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、自分の考え、希望を英語で正しく話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について話されている簡単な英語を聞いて、話し手の意見や考えを正しく理解できる。

船橋市中学校英語科「アクティビティ・タイム」指導計画

目標：日常生活の身近な事柄やその中でよく使われている表現を聞いて理解でき、自分でも話すことができる。

	1 学 年	2 学 年	3 学 年
4月	英語の挨拶と出会いの表現	自己紹介 と友達の紹介	春休みは何をしましたか？
5月	好きなものをめぐる表現活動	自己紹介	自己紹介
6月	学校での生活、活動	将来の夢は	体験
7月	家庭での生活、活動	買い物	旅行
9月	自己紹介	頼み事	この問題についてどう思う？
10月	友達を紹介する	道案内と立ち話	将来の夢は
11月	私の一日（時間、行動）	どうして行ったの？	まとめースキットの上演
12月	日本の行事を紹介する	自分の町を表現してみよう	まとめー意見の主張
1月	外国の文化を知り、紹介する	どっちが背が高い？	まとめ
2月	外食をする	同じくらいだね	まとめ
3月	まとめースキットの上演	まとめースキットの上演	

「アクティビティ・タイム」では、上記のテーマに沿ったスキット原稿を基に、聴解力向上練習、役割練習をALT、日本人コーディネータの指導により、ペア、グループ等でスキット創作活動を行い発表する。